

日本数学会出版賞の授賞候補推薦について

理事長 森田康夫

数学が高度に専門化したため、数学の果たす重要な役割が一般の方々はもとより、理科系の専門家にも理解されているとは言い難い状況があり、また、子供達の教育に際しても、数学が難解であるとの印象を必要以上に与えることなく数学の素晴らしさを判り易く伝え、数学離れ、理科離れ、書物離れを防ぐ必要があります。

このような状況がある一方で、数学の魅力や巧みに伝える一般向け啓発書が最近相次いで出版されるという誠に喜ばしい状況もあり、本会としては側面から応援したいと考えます。また、数学諸分野の有機的連携を図り、自然科学、社会科学との協力関係を促進するためにも、数学の魅力や目覚ましい発展の真髄を他分野の専門家のみならず一般にも判りやすく伝える数学者の努力も奨励したいと考えております。

そこで、数学通信第9巻第2号(2004年8月)に予告しましたように、日本数学会出版賞授賞候補の会員による他薦を下記の要領で募集します。

- 趣旨 出版活動などの著作活動により、数学の研究・教育・普及に顕著な業績をあげた活動を顕彰
- 授賞対象 著作物等の著者、編集者、制作者、出版者などの個人または団体。
 - * 特定の著作物等のみならず、個人・出版者等による普及活動全般も授賞対象とします。
 - * 個人に授賞する場合は、授賞発表時点での存命者に限ります。
 - * 「著作物等」には、書籍、雑誌、ビデオ、DVD等を含みます。論文は研究業績を顕彰する他の賞の授賞対象でもありますので、原則として授賞対象とは致しません。
 - 著作物等の場合に想定する授賞対象としては、数学専門家向け書籍・雑誌、数学専攻大学院生向け専門書、学部学生用教科書、大学生・高校生・中学生・小学生等を対象とする啓発著作物等、非数学者向けの専門書籍・雑誌、一般を対象とする啓発著作物等が考えられますが、これら以外でも、賞の趣旨に適うものが推薦されてくれば審査対象とします。
 - 和算関係の著作物等も授賞対象とします。
 - 著作物等の場合、原則として日本語によるものを授賞対象としますが、日本人著者による外国語でのオリジナルな著作物等や、日本語による著作物等を翻訳して世界に普及させたものも授賞対象とします。
 - 日本語への翻訳著作物等も、訳者、編集者、出版者を授賞対象とします。
 - 著作物等の場合、審査時点で入手可能なもののみを授賞対象とします。(推薦時に現物を提出する必要はありませんが、選考委員会が推薦者に対して審査対象著作物等の一時貸与を御願いする場合があります。)
- 推薦件数等 他薦(各会員毎に1件に限る)
- 推薦書類 A4版用紙2枚以内に、次の事項を御記載下さい。
 1. 推薦者氏名、数学会会員番号、連絡先住所、電話番号、電子メール宛先。
 2. 特定の著作物等に関して推薦して頂く場合には、顕彰すべき対象と著作物等の書誌事項(著作者名・翻訳者名等、著作物等題名、出版者等名称、出版年、その他)。

3. 編集者・制作者・出版者等に関してその活動を推薦して頂く場合には, その対象名と顕彰対象とすべき具体的事項.
 4. 推薦して頂く理由.
 5. 当該推薦に関して選考委員会に参考意見を提供して頂けそうな数名の方々の氏名, 連絡先住所, 電話番号, 電子メール宛先.
- 推薦書提出締切 2004 年 12 月 20 日 (月)
 - 推薦書提出宛先 110-0016 東京都台東区台東 1 丁目 34-8 日本数学会出版賞選考委員会宛